



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

木佐木 ただまさ

日本共産党 見解を紹介します

いのちとくらし
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

多様性を尊重する社会へ

自民党の反対で「LGBT理解増進法案」が見送りに

5月28日、自民党総務委員会において「LGBTなど性的少数者に対する理解増進法案」の今国会提出を見送るとのニュースが流れました。

この法案は、性的少数者に対する国民の理解促進へ基本計画策定を政府に義務付ける内容となっており、2018年12月に野党が共同提案した「LGBT差別解消法」への対案として与党が提案したものです。

この間は超党派の議連ですり合わせを行い、目的・基本理念に「性的指向及び性自認を理由とする差別は許されないものであるとの認識の下」との文言を盛り込むことで合意をみていました。

あまりに時代錯誤 国際的に姿勢問われる

ところが、法案に関する自民党内の会合では、「差別は許されない」と書き込むことに反発する議員らから、LGBTは「種の保存に背く」「道徳的に認められない」など差別と偏見に基づく発言が相次いでいるのです。

時代錯誤の論で、差別撤廃に背を向ける自民党の認識に開いた口が塞がりません。

超党派議連に参加してきた日本共産党の田村智子政策委員長は「性自認や性的指向によらず、基本的な人権が保障されるというのは国際的に当たり前のこと。それが受け入れられないというのは、国際的に自民党の姿勢が問われる」と指摘しています。

理解増進法自体、差別を解消するということまでは踏み込まず不十分なものでしたが、それでも少しでも前進させようと与野党と当事者の声を踏まえて協議してきたものです。これですら受け入れられないとする

のであれば、自民党にその理由を説明してもらわねばなりません。

SNS上では、「#自民党LGBT差別発言の撤回謝罪を求めます」というハッシュタグが広がっており、5月30日には自民党本部前では抗議の座り込みデモなども行われました。

オリンピックを強行開催しようとしながら、オリンピック憲章に反するこのような言動が繰り返される自民党には一刻も早く退場してもらわねばなりません。ともに力を合わせましょう！

活動写真ニュース



5/27 宣伝カーで神奈川区を回りました。



5/28 地域訪問 神奈川区内の教会